

仕事の効率と質を激変させる 生成AI活用の仕事術 研修



■ 直面する課題

生成AIツールを導入した企業において、「どのように業務に活用すればよいかわからない」といった声や「生成AIの機能は理解できるが、実際の業務でどう使えば効果的なのか...」という悩みをよく耳にします。さらに、せっかく高額な生成AIツールを導入したにも関わらず、「使い方がわからない・効果が実感できない」といった理由から、一部の社員のみが使用し、組織全体での活用が進まないというケースも見受けられるのではないでしょうか。

■ 研修のねらい、目的

本研修では、生成AIを「新しい相棒」として日常業務に積極的に活用するための具体的な手法や、効果的な活用事例について学びます。生成AIを業務に活用することは、適切なアプローチを身につければ決して難しいものではありません。

本研修では、「使える」「効果が出る」「継続できる」をモットーに、実務に即した生成AI活用の要点を説明します。実践的な演習を多く取り入れ、手を動かしてもらうことで、研修翌日から、生成AIを活用した業務改善を始めることができるようになります。

■ 研修の特長

1. 「使える」「効果が出る」「継続できる」生成AI活用のポイントを学習し、実務で成果を出せる活用方法がわかります
2. 単なるツールの操作方法だけでなく、最も重要な業務における“効果的なプロンプト設計”、“AIとの対話スキル”の習得方法がわかります。
3. 活用方法だけでなく、生成AIを組織で継続的に活用してゆくための方法がわかります
4. 豊富な演習を通じて具体的な生成AI活用の実践方法、進め方がわかります。
5. 貴社導入済み生成AIツールに特化した研修内容研修実施前に、対象企業が導入している生成AIツール（ChatGPT、Claude、Microsoft Copilot等）を事前に試用させていただき、貴社の業務環境と導入ツールの特性に合った研修内容にカスタマイズいたします。

体系的理解

- 論理的思考とフレームワークを活用した効果的なプロンプト設計
- 生成AIの体系化力・網羅的発想力を活かすアプローチ

効果重視

- 生成AIを信じることと疑うことの両立・・・使うと任せる
- 全体企画・計画レベルの生産性向上と日々の作業の効率化

継続化

- 使い始めの負荷を乗り越える
- 生成AIを使う・互いに共有する、生成AIと学び合う文化の醸成

コンサルタントが培った仕事術とチーム共創手法
論理的思考・フレームワーク活用×生成AI=生産性と創造性の飛躍的拡大

■ 研修の対象

- ・生成AIを仕事に活かしたい方
- ・営業部門、企画部門、管理部門の担当者からマネジメント層まで幅広く活用いただけます。

■ 研修の期間

標準コースは1日間ですが、より詳細な内容をご希望の場合はカスタマイズが可能です。

■ プログラム例

時間配分	内容主な内容
10:00-10:30	オリエンテーション ・研修の目的と進め方、生成AI活用の現状と課題共有 ・参加者自己紹介とアイスブレイク
10:30-11:30	生成AI活用の基礎理解 ・生成AIの特性と可能性と従来ツールとの決定的な違い ・ビジネス活用の成功事例紹介
11:30-12:30	効果的なプロンプト設計 ・プロンプトエンジニアリングの基本と生成AIの進化による「脱プロンプト」 ・役割設定・指示・出力形式の構成要素 演習1 ：共通テーマでのプロンプト作成
12:30-13:30	昼休み
13:30-14:30	演習2：情報収集・調査分析 ・市場調査・競合分析での活用法 ・グループ演習：テーマ設定と実践、成果発表と講師フィードバック
14:30-15:30	演習3：資料作成・文書作成 ・提案書・企画書作成での活用法、文章添削・要約・構成案作成 ・実際の業務資料を用いた実践演習
15:30-15:45	休憩
15:45-16:30	演習4：業務プロセス改善 ・手順書・マニュアル作成での活用と 定型業務のテンプレート化 ・業務効率化アイデアの発想と実践
16:30-17:00	まとめと今後の活用計画 ・意見交換・相談タイム

■ 実施事例・成果

A社：営業部門での生成AI活用推進のため、営業企画担当者へのトレーニング実施

【受講者の声】

- ・これまで生成AIを「なんとなく」使っていましたが、効果的な使い方がよく理解できました。特にプロンプトの作り方を学んだことで、求める回答を得られるかようになり、業務効率が大幅に改善されました。
- ・提案資料作成時間が体感ですが半減以上かもしれません。結果としてより多くの顧客へのアプローチが可能に
- ・競合分析の精度が向上し、商談の質が高まりました。

B社：管理部門での業務効率化を目的とした全社施策として実施

【受講者の声】

- ・生成AIを業務で活用するためには、ツールの機能を知るだけでなく、どのような指示を出せば期待する結果が得られるかを理解することが重要だとわかりました。研修で学んだプロンプト設計の手法を使って、様々な業務で活用を進めています。
- ・定型的な報告書作成時間が大幅に削減。内容によっては1/10以上削減できたケースも。
- ・業務マニュアル作成の効率化により、新人研修の準備時間が70%短縮。

C社：製造業での品質管理部門、次世代リーダー層への実施

【受講者の声】

- ・これまで属人的だった品質管理のノウハウを、生成AIを使って体系的に整理できるようになりました。コンサルタント講師から教わった論理的思考の枠組みと生成AIを組み合わせることで、若手にも伝承しやすい形でナレッジを蓄積できています。
- ・品質管理文書の作成・更新作業が効率化され、より本質的な品質向上活動に時間を集中できる。
- ・多言語対応マニュアルの翻訳・校正作業において、従来比80%の時間短縮を実現。
- ・ベテラン社員の暗黙知を形式知化する際のインタビュー整理・構造化が大幅に効率化。

【本件ご質問等問合せ窓口】

株式会社日本能率協会コンサルティング 研修マネジメントセンター
東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル7階 TEL : 03-4531-4317 E-mail : learning@jmac.co.jp